



佐々木 恵美子 議員

一問一答方式

問……………
令和6年4月から使用する小学校無償教科書の採択の期日をひかえているが、公正、透明性へ見解は。

答(教育長)……………
教科書の採択は、児童生徒が学校の授業や家庭における学習活動において用いる教科書を決定する重要な行為である。綿密な調査研究を踏まえ、公平性や透明性に疑念を生じさ

せることのないように適切に行われることが必要と認識している。採択に係る審議会の委員や調査委員等は、直接利害関係を有する者を選任しないこと。また、一部の意見や今まではこの教科書を使っていたから今年もという慣例等により決定されることのないように、詳細な項目に従い、調査研究を行い、慎重な審議を経て採択することになっている。

無償教科書の採択 公正、透明性の見解は

教育長 疑念を生じさせないように適切に行うことが必要

問……………
無償教科書の見本の一般公開について。

答(教育長)……………
採択に関しては保護者を初め、地域住民により開かれたものとしていくことが極めて重要である。一般公開を通じて、地域住民等に多くの方々に教科書に触れていただくための機会としている。遠野行政センターで6月15日から7月3日公開する。

グローバルの流れの今こそ 市民が郷土を学ぶ機会を

市長 遠野の先人の功績が目につくよう取り組みたい



岩手県における殖産興業指導の先駆者であった遠野の起業者・山奈宗真

問……………
市民が郷土の歴史を学ぶ意義をどう考えるか。

答(市長)……………
私個人としては、先人が果たしてきたことを学んで勇氣に繋げる。地域の誇りを育み、グローバルイズムを推進していく上では、最善のツールではないか。遠野のアイデンティティをどのように養っていくか。ここが郷土史を勉強することで、できるのではないかと思う。

問……………
グローバル化の流れに、郷土の歴史を学ぶ機会は大事と考える。学ぶ機会の創出は。

答(市長)……………
市史編さん講座を初め、市民を対象とした講座を開催し遠野の人物を紹介する機会を作っている。遠野テレビも活用しながら、遠野の先人の功績を目につくように取り組みたい。



小林 立栄 議員

一問一答方式

自然災害や熱中症から 市民を守る取り組みを

市長 しつかり準備ができていないか
もう一度見直すべき

問……………
ペットとの同行避難だけでなく、一緒に過ごせる同室避難所も必要では。

答(市長)……………
これまでの避難所とは区別して開設することも、考えなければならぬ。

問……………
被災者一人一人に必要な支援を行うため、

個別の被災状況と生活状況に合わせた支援をする仕組みである※災害ケースマネジメントに取り組める体制を。

答(市長)……………
「新たな地域支え合い」による「福祉でおのづくり」に取り組みながら推進したい。

問……………
熱中症対策は。

答(市長)……………
市役所や施設での職員対応について、マニュアルを作成した。庁内で情報共有しながら対策を進めたい。

答(教育長)……………
気象情報等を活用した適切な判断、水筒の持参、普通教室へのエアコン等の設置、教職員間での危機管理マニュアルの共有など対応している。



災害への備えと防災意識が大切
議会でのシェイクアウト訓練の様子

また、自分の命を守るために自ら行動できる児童生徒の育成にも努めたい。体育館への空調設備設置の必要性は十分認識しており、総合的に判断したい。

※災害ケースマネジメントとは
自治体が弁護士や保健師、建築士、民間団体等と連携し、被害者一人一人の悩みやニーズを個別訪問して聞き取ることで、適切な支援につなげて生活再建を後押しする取り組み。

治療をしながら、 自分らしく暮らしていける地域社会を

市長 時間を大事にしながら、
社会生活ができる地域でなければならない

問……………
人工透析は血液内の老廃物を人工的に取り除く治療で、週に3回以上通院しなければならぬ。

答(市長)……………
現在行っている通院支援の拡充や新たな助成の創設は、他の疾患治療のために通院している方との公平性の観点から慎重な検討が必要。

問……………
全身を激しい痛みが襲う線維筋痛症への理解促進、当事者や家族等に寄り添った相談支援の充実を。

答(市長)……………
生活上の悩みや精神的なこと等、相談対応で寄り添って進める。

通院に困難や不安を抱えている方へ、命に関わる特殊性を考慮した対応を。

答(市長)……………
個々の課題に対して具体的な対応ができる体制にしていきたい。